

2018年(平成30年)12月11日(火曜日)

四日市の市民活動を支援する「公益財団法人ささえあいのまち創造基金」(四日市市萱生町)が、若者グループの社会課題解決に向けた事業に助成する「次世代応援枠」を創設する。若者の市民活動への参画を促す狙いで、二〇一九年度の配分から始める。

活動主体を「若者」に特定し、事業支援をするのは、珍しい取り組みという。対象は、市内で活動する三人以上のグループで、高校生や大学生ら十五〜三十九歳を想定。社会貢献活動を展開する市民団体などに配分する「ささえあい基金」のうち、その三割を充てる。同基金と同じ来年三月に募集する。

市内の若者団体支援 次世代応援枠を創設

四日市の基金

四日市大副学長で財団の松井真理子代表理事は「若者の市民活動を促す呼び水にしたい」と話した。公益財団法人に寄付した場合、寄付者は税制上の優遇措置が受けられる。法人はこうした利点を強調し、寄付金集めにも力を入れる。

法人は一二年十二月に設立。今年までの寄付額は千六百万円余で、百五十四団体に配分した実績がある。公益財団法人ささえあいのまち創造基金 059(363)3539

(梅田歳晴)